

For Others

フェリス女学院の「For Others」という教育理念には、「他者のために」という意味のほか、「他者とともに」という意味が込められています。この理念と「防災」を結びつけ、ボランティアや「女性の防災」などについて学びました。自分のできる災害対策について主体的に考えるためには、日頃から身近な小さなことに目を向け、疑問を持つ癖をつけることが重要です。

まちと防災

防災は、「自助」「共助」「公助」の3つの要素から成り立ちます。国や自治体、民間の企業や団体の発信するすべての情報を活用する必要はありませんが、意識的に調べることはとても大切です。情報収集の仕方を知ることが、災害時の備えに大きく役立つことを学びました。また、近所付き合いを希薄にしないことも、災害時のスムーズな助け合いに繋がるでしょう。

未来のために

発災3分後、3時間後、3日後の3つの時間軸を基準に、起こりうる被害とそれに対する行動を考えるワークショップを行いました。目的は、災害発生時の複雑な状況を整理し、防災に取り組みやすくすることです。自治体が発信しているハザードマップやマイタイムラインを活用し、一人ひとりが防災の意識のもと行動することが重要です。

編集後記

リーフレット「マモル」を手にとっていただき、ありがとうございます。私たち「フェリス女学院大学防災プロジェクトチーム」は、防災をテーマに本学で開講された学生提案科目「私たちが学びたいこと」の履修者の中から有志で結成されました。

全15回の授業では、沢山の方に講師としてお越しいただきました。多様な防災の形に触れることで、学びの輪が広がったのではないかと思います。今回の街マルシェでは、授業での学びや「防災の重要性」について、地域の皆さまに発信することを目的とし、リーフレットを作成しました。

このリーフレットが、地域の皆さまが改めて防災について考えるきっかけになれば幸いです。

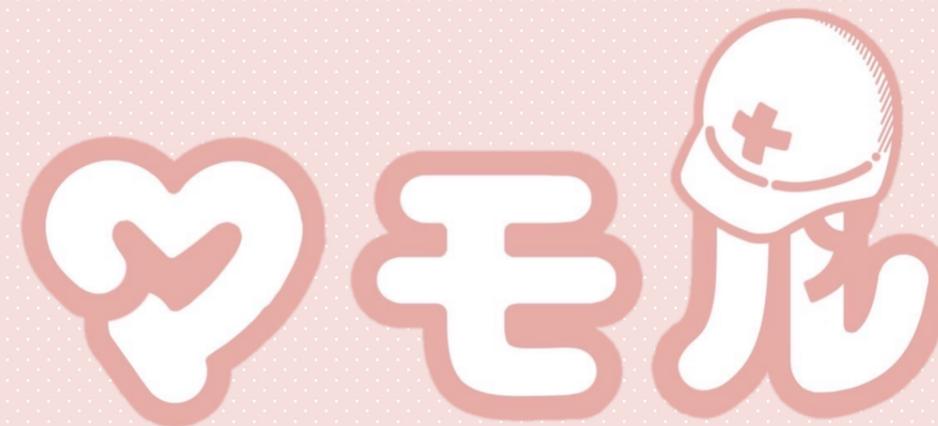
フェリス女学院大学 防災プロジェクトチーム

制作

音楽芸術学科 2年 Y.N.
日本文学科 1年 E.H.
コミュニケーション学科 3年 R.N.
国際交流学科 3年 S.K.
国際交流学科 4年 A.Y.

2021年11月21日

連絡先：フェリス女学院大学横浜学（大西）ゼミ



学生提案科目「私たちが学びたいこと」2021年度

予測される災害に備えよう
～For Others 命を守る～

授業開講の経緯と授業概説

この授業は、「防災」について様々な視点から考えてみたいという学生の提案から始まりました。

災害が頻発する日本では、過去の災害について、メディアでも取り上げられる機会が多くあります。過去の災害の記録からは、正しい知識を身に付け、行動することが、自分の命だけでなく他者の命を守ることに繋がるということが分かります。

この授業では、多様な分野の方による講演やグループワークを取り入れながら、正しい知識や、防災行動について自ら考える力を身につけるためのプログラムが実施されました。

このリーフレットでは、4つのキーワードからこの授業を紹介します。

記憶の継承のために

3週に渡り、異なる2つの時代の震災体験が紹介されました。

はじめに、1923年の関東大震災を経験した当時のフェリスの生徒たちの震災体験記について、国際交流学部の横浜学ゼミの3名が発表を行いました。

次に、授業提案者自身が、小学生のときに岩手県釜石市で経験した東日本大震災について語りました。

過去の災害を客観的に分析することで、現在にも活かすことのできる情報を得ることができると分かりました。

もしものために 備えましょう

非常用持ち出し チェックリスト

□リュックサック

食料

- 保存水・飲料水
- 非常食・保存食

情報収集

- 携帯電話
- 携帯用ラジオ
- 予備電池・モバイルバッテリー
- 広域避難地図 または ポケット地図

安全対策

- 軍手
- ヘルメット
- 笛
- 懐中電灯

衛生面

- マスク
- 簡易トイレ
- ウェットティッシュ
- レインコート・タオル

その他

- 衣類・下着
- アルミブランケット
- 常備薬
- 救急セット(絆創膏、消毒液、包帯など)

貴重品

- 財布(現金)
- 身分証明書

防災グッズの準備

持出袋や懐中電灯、スリッパなどは枕元においておきましょう。また、避難地図は用意するだけでなく実際に確認しておき、災害発生時に焦ることなく避難ができるようにしましょう。

非常食の試食

慣れない避難生活では、さまざまなストレスを感じやすくなります。食事のストレスを軽減させるために、試食をして自分の口に合った非常食の準備をしましょう。

防災情報を一覧できる便利なサイト

- 国土交通省「防災ポータル」
- 災害時に「いつ」「何をするのか」を整理した一人ひとりの災害計画「マイタイムライン」
- 横浜市が提供している地図「わいわい防災マップ」: 横浜市行政地図情報提供システム
- 非常時持ち出しリスト: 日本赤十字社
- ロケスマ「横浜市の災害時給水所」マップ: 横浜市
- 帰宅困難者一時滞在施設: 横浜市
- Yahoo! 防災情報(アプリ)



スマートフォンをお持ちの方は、こちらのQRコードを読み取り、防災関連情報をご確認ください。

